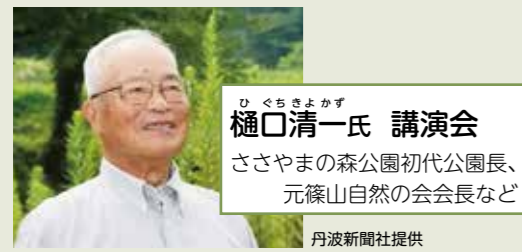


篠山の注目すべき自然と牧野富太郎の篠山に於ける足跡



樋口清一氏 講演会
ささやまの森公園初代公園長、元篠山自然の会会長など

丹波新聞社提供

とき 10月1日(日) 14:00 ~ 15:30
ところ ささやまの森公園
定員 80人
問い合わせ ささやまの森公園 ☎557-0045

高校生が考案したご当地メニューを限定販売(8月27日)



後列左から、篠山産業高等学校の久禮朱里さん、和泉心暖さん

篠山産業高等学校農と食科3年の和泉心暖さんと、久禮朱里さんが、県の食の魅力の発信を目的としたメニューコンテスト(西日本高速道路株式会社グループなどが企画)で優秀賞を受賞しました。和泉さんが考案した「丹波栗を使った栗パン」は宝塚北SAで、久禮さんが考案した「黒豆味噌の豚汁定食」は西紀SA(下り線)で、期間限定で販売されています。

第1回 せや! フリマイこっ!! (9月2日)



丹波篠山市民センターでフリーマーケットが開催されました。丹波篠山市民プラザが主催し、登録団体が出店。「団体同士や地域とのつながりのきっかけに」という思いで開かれ、リサイクル品や種から育てた植物の苗など、多様な商品が並びました。商品を通じて交流が生まれ、大盛況を収めました。

丹波篠山茶と上島珈琲店のコラボ商品が販売(9月1日)



丹波篠山茶を使用した「丹波篠山焙じ茶ミルク珈琲」。兵庫県などが展開する観光事業「兵庫ディステーションキャンペーン」に併せて9月1日から10月10日まで、全国の上島珈琲店で販売されました。1日には、丹波篠山観光大使の榎谷彩愛さんが上島珈琲青山店で販売PRを行いました。



詳細は右側をご覧ください



デカンショ祭、4年ぶりの熱気!(8月16日)

4年ぶりに夜店が並び、花火の打ち上げも行われた今年のデカンショ祭。多くの人がやぐらを囲んで踊りを楽しみ、70回目の節目にふさわしいにぎわいを見せました。残念ながら1日目は台風の影響で中止となりましたが、2日目は天候に恵まれ、約4万6,000人の方が来場しました。祭は1日に短縮されましたが、その1日の中にたくさんのイベントが組み込まれており、やぐら周辺は活気にあふれていました。また、夜店街はやぐら周辺に負けないほどの人々でにぎわいました。

ご長寿お祝い訪問(9月1日)



畑中もと子さん
梶屋光乃さん

市長が社会福祉協議会前田公幸会長、市老人クラブ連合会森口武治会長とともに、畑中もと子さん(107)と梶屋光乃さん(103)を訪問し、記念品などを手渡しました。畑中さんは卵焼きが得意で今も作られるそうで、梶屋さんはサーモンとマグロのお寿司が好物とのこと。お2人とも訪問を喜んでおられました。

コーラス・レヴール全国大会へ(8月21日)



地区大会を勝ち抜き、11年ぶり2度目の「全日本おかせんコーラス全国大会」出場権を獲得されたコーラス・レヴールの皆さんに、丹波篠山ふるさとPR奨励金をお渡ししました。8月26日に姫路市で開催された全国大会では、優秀賞にあたる「ひまわり賞」、観客投票により選ばれる「オーディエンス賞」をW受賞されました。

消防救助技術「はしご登はん」訓練で全国大会に出場(8月25日)



市消防本部の竹重正博消防士長が、7月に開かれた消防救助技術近畿地区指導会「はしご登はん」訓練で県優勝を果たし、8月25日に札幌市で行われた全国大会に出場しました。「はしご登はん」とは、高さ15mのはしごをいかに速く安全に登るかを競う競技で、大会には26組52人が出場しました。持ちタイムでは1位になれるタイムをもっていた竹重さんでしたが、はしごの1段目で足を踏み外し、減点対象となり、惜しくも入賞を逃しました。「ロープを巻き付けて命綱をつくる作業は完璧でしたので、落とし穴に落ちた気分です」と悔しそうに話されます。最後に「大会では、自分自身の詰めの甘さを実感しました。この教訓を他の業務でもいかしていきたいです」と話されました。



は